

T18

# エネルギーストレージ素子の最前線

～大容量・高信頼性に向けて～

## Future developments on energy storage devices

~For improvement of capacitance and reliability~

**日時** 2020年3月13日（金） 13:30～17:45 **会場** 上智大学 四谷キャンパス B402教室

スマートフォンの普及や自動車のEV化・自動運転化、さらに、5G、IoTの社会実装に伴い、コンデンサの高性能化の要求は年々高まっています。本シンポジウムでは、日本が先導してきた積層セラミックコンデンサの現状と今後に加えて、ナノレベルでの粒子形状の制御や反強誘電体の利用などの新しい動きについても焦点を当てます。

招待講演（敬称略・五十音順，仮題）

安藤 陽（村田製作所）

未来のスマートソサイエティに向けた誘電体材料研究開発の展望

神野 伊策（神戸大学）

スパッタ法を用いた積層薄膜キャパシタおよび全固体薄膜Li電池の作製

白石 貴久（東北大学）

化学溶液堆積法による $x\text{CaZrO}_3-(1-x)\text{NaNbO}_3$ 薄膜の作製とその電気特性

高江 恭平（東京大学）

反強誘電相転移の双極子モデルとその電気力学応答

三村 憲一（産総研）

未来型キャパシタデバイスに向けた誘電体ナノクリスタル集積化技術の開発

森田 浩一郎（太陽誘電）

MLCCの信頼性を確保する材料設計と評価手法

和田 智志（山梨大学）

界面制御に基づく次世代エレクトロセラミックスの提案

### 一般講演 数件募集

企画 6.1 強誘電体薄膜 / 9.1 誘電材料・誘電体

世話人 吉村 武, 上野 慎太郎, 恵下 隆, 森本 貴明